

窓

— 同窓会だより —

No. 115 (令和 5. 8. 13発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 同窓生寄稿
- 3面 同窓生寄稿、お知らせ
- 4面 魚高生の活躍、お知らせ



コラムと人生と

北日本新聞社論説委員長 魚津 悟 司 (魚高36回)

普段はもっぱら社説を執筆している。1面のコラム「天地人」も時折書く。これが実に難題である。

あまり読まれない社説と違い、読者が多く見られているのは「おくやみ欄」で、コラムもかなりの上位にいる。

「天地人書き写しノート」なるものも販売されている。新聞のコラムと同じマス目が印刷され、1冊で1カ月分を書き残せるようになってきている。驚くことに、これが案外売れる。毎朝1字1字書き写しておられる方がいると思うと、プレッシャーを感じざるを得ない。

コラムは大まかには起承転結の文章スタイルとなつている。読売新聞のコラム「編集手帳」を長く担当した竹内政明さんは、落語になぞらえて書き出しを「マクラ」、締めくくりを「サゲ」と称した。マクラとサゲに挟まれた本題部分は「アッコ」である。ちよつとこれを拝借して話を進めたい。まずマクラをしつかり書く。コラムは新聞では数少ない「見出しのない」記事だ。見出しで興味を引くことはできないから、書き出しで読者の心をつかむ必要がある。マクラに使える引き出しを多く持つていればいいのだが、ここに人生経験や知識の差が出てしまう。

マクラを書いたら、サゲを仕上げるのが理想だ。読者の読後感を左右するのはサゲの出来次第だからである。

とはいえ、理想通りに事は運ばないのが世の常。テーマを決めるのにまずは七転八倒する。10年以上前、コラムを毎日書く専任担当をしていた。出勤すると新聞各紙に目を通す。世に何か面白い動きはないか必

死である。NHKの昼のニュースが終わる頃になつても何も浮かばないと焦り出す。コラムの部分が白いまま新聞が発行される悪夢がちらつく。こうして、日々もがきながら執筆している。

先日は、全国の高校野球部員が減っていることをテーマにした。マクラとしたのは高校在学中の思い出。3年生の時、わが野球部が準決勝まで勝ち上がった。忘れもしない対桜井戦。応援に行きたいと先生に掛け合い、大勢の生徒が繰り出した。

アッコには、昨年夏の甲子園で有名となったあの言葉を使った。「青春って、すごく密なので」。当時のわが野球部員にとって準決勝の舞台は青春まつただ中だったろう。同時に、スタンドで必死の声援を送つたわれわれにとつても青春の貴重な思い出となつたのである。そんなことを書いた。

一般の新聞記事に人間性が出ることはまづない。しかし、コラムには如実に書き手の人間性がにじみ出る。それでこそコラムだと思つている。喜怒哀楽があり、人間の体温が感じられてこそ、共感を持つて読んでいただけるはずだ。

在校生の後輩たちには、密な青春を過ごしてほしい。もがき苦しむことも当然ある。そうやって、たくさん的人生経験を積んでほしい。マクラに使える引き出しを多く持つことができ、サゲににじみ出る人間性が培われるはずだ。

私たちはコラムなんか書かないって？ いえいえ、コラムに有用なだけでなく、マクラとサゲを豊かにすることはこれからの皆さんの人生にもきつと有用なはず。そう信じている。

気付いたらアメリカに永住してしまっただ

グライムズ 高 森 美 帆 (魚高54回)



22年とは長いようで実はそうでもないらしく、気付けば自分の子供達がアメリカの中高生になっている。自分が高校生だったあの頃は、まさかせっかく受かった大学を一年の前期で中退するなんて想像すらしていなかった。アメリカに語学留学することはあの頃から決めていたけれど、そのまま永住するなんてもちろん想定外。まさか日本の大学を中退したような者が、地元では縁遠い日本のメガバンクにアメリカで就職することになるなんて誰が予想していただろうか。仕事も子育てもしながらオンラインでアメリカの大学の学位を取るなんて、高校生の時には選択肢にすらなかった。将来役に立たないと思っていた高校数学のお陰でこちらの大学の数学の単位は楽勝だった。高校三年間、英語だけはずっと真面目に取り組んでいたからこそ、今の私のアメリカでの人生があるといっても過言ではない。人生何が起きるか本当にわからないし、無駄なことなんて一つもない。それを悟るまでには時間はかかるかもしれないが、それが勉強だろうが部活だろうが遊びだろうが趣味だろうが恋愛だろうが、結果はどうあれ、今やるべきこと今しかできないことに全力を尽くすことは必ず自分の実になるし、それが人生を形作っていく。この22年は想定外の連続だったけれど、今後ますます面白い人生を送ることになるのは流石にもう想定内だ。ちなみに転生はしていない模様。

モテるための旅路

メディカルBEC S代表

・カウンセラー 坂 本 岳 之 (魚高54回)



高校時代、一心に追い求めていたものはただ一つ、「モテること」でした。成績が振るわなかった私は、部活や行事、生徒会活動といった全てをモテる手段として使っていました。しかし、本当に望んでいた心と心のつながりは得られず、不全感という名の苦しみに日々悩まされていました。この悩みがきっかけとなり、精神科看護師という道を進むことを決意しました。

そこで得た衝撃の事実、多くの人が私と同じく心から人とつながりたいという願いを持っているということでした。それらの経験は、現在カウンセラーとしての私の支えとなっています。人と心からつながること、それがまさに「モテる」ことだと日々感じています。

現在の私は妻と娘に囲まれて、家族にモテるために奮闘しています。そのためには相手を深く理解し、思いやり溢れるコミュニケーションが必要です。仕事だけでなく、家事や育児などの日常生活の中でも、相手の立場や状況を理解し、臨機応変に対応することが求められます。妻からモテることは容易ではありませんし、娘に至っては「ママがいいー！」と全くモテていません。私が追い求める「真のモテ」に向けた旅は、今も続いています。

魚津高校の校訓「撻まぬ勉強」は、今でも私の指針です。モテるため、人と心をつなげるために、私の学びはこれからも続くのです。



あれからもう22年

法テラス大阪法律事務所

弁護士 澤田博和(魚高56回)



思い返せば、厳しい日差しが和らいだ初秋の頃、授業の一環で受けた「進路探訪」で弁護士という職に強く惹かれたことがすべての始まりだったと思います。

法学部へ進み、裁判員裁判をはじめとした司法制度改革の波に乗って法曹界の扉を叩きました。13年前に弁護士登録。公的な機関に身を置き、転職しながら法が行き届きづらい国民への支援をしています。

初任地の富山、次の魚津では弁護士として家族の問題などを取り扱い、次に転職した東京では管理部門や官庁出向を経て多様過ぎる利害関係に振り回されました。次の島根県松江市では地域住民・関係機関の力と雄大な自然に感銘を受けつつ、京都へ。風光明媚な観光地ですが、司法業界では本音と建前のあまりの乖離から話し合いによる解決が困難な土地柄としても有名です。そして今の勤務地大阪は、お金には厳しいですが、厳粛な法廷での証人尋問でも笑いを織り交ぜてくるサービス精神旺盛な土地柄です。

様々な土地に住みながら年月を重ね、家族の在り方や社会課題の複雑化を実感しています。対応する法改正や民事裁判のIT化も進みましたが、社会から取り残され孤立する人々も見え隠れします。紛争解決を重視してきた司法も、多機関と協働して支援の一翼を担うことが期待されています。

私の現在を方針づけた高校での3年間は、今でも私の中に生きています。文末ながら、母校の発展、そして同じ門をくぐった先輩、後輩の幸せをお祈りしています。

令和5年度

第5回海外研修について

グローバル社会の中で活躍する人材を育成することを目指し、生徒の国際性を高める活動の一環として、1、2年生を対象に第5回海外研修を実施いたします。令和2年度以降はコロナ禍のため、国内での代替研修を実施して参りましたが、今年度は3年ぶりに国外での研修を開催する運びとなりました。同窓会の「紅奨学金」から補助を受けての参加となり、参加者が国際性を涵養し、将来の進路設計の一助とすることを目指します。

概要

【実施期日】

令和5年12月5日(火)～12月13日(水)9日間

【研修先】

カナダ ブリテイッシュ・コロンビア州 バンクーバー市

【主な研修内容】

ホームステイ、英語レッスン、アクティビティ、ブリテイッシュ・コロンビア大学訪問、バンクーバー市内観光

滞在中の訪問先



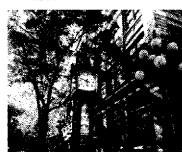
キャスタウン



スタンレーパーク



スリティッシュ・コロンビア大学



第76回

魚津高校体育大会

百花斉放～若き力よ、咲き誇れ～

期日：令和5年9月5日(火)

※雨天順延時：6日(水)

8：20 開会式

9：00 午前競技

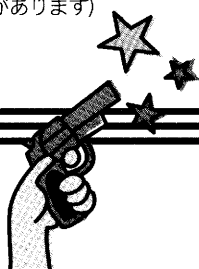
12：50 応援合戦

13：40 午後競技

15：30 閉会式



(当日の天候や進行状況等により、時間は変更する場合があります)





魚高生の活躍 (令和5年4月~7月)

○陸上競技部

・第76回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会

男子110mH	1位	浜守 光映	3-2
男子砲丸投げ	1位	高山晋太郎	3-4
男子ハンマー投げ	6位	高山晋太郎	3-4
男子走り幅跳び	5位	稲葉隼之介	3-2
女子800m	5位	川尻 悠加	1-2
女子やり投げ	8位	中林 紗羅	2-3

・第65回富山県陸上競技選手権大会

共通男子110mH	3位	浜守 光映	3-2
-----------	----	-------	-----

○男子ソフトテニス部

・令和5年度富山県高等学校総合体育大会

個人ベスト16 北信越出場	藤森 駿平	1-1
	舟川 和斗	2-1

・令和5年度ソフトテニス新川地区総体(金尾杯)

団体	2位		
個人	優勝	藤森 駿平	1-1
		舟川 和斗	2-1

○女子ソフトテニス部

・令和5年度ソフトテニス新川地区総体(金尾杯)

団体	2位		
個人	3位	長川原 愛	2-1
		木本うらら	1-1
		木本 葵	2-1
		松平ゆずき	2-4

○カヌー競技

・令和5年度北信越高等学校体育大会

第9回北信越高等学校体育大会カヌー競技

女子カヤックシングル500m	2位	晴枝 葵	3-2
----------------	----	------	-----

・第25回早乙女湖カヌースプリントジュニア選手権大会

少年女子カヤックシングル	2位	晴枝 葵	3-2
--------------	----	------	-----

少年女子カヤックペア	2位	晴枝 葵	3-2
------------	----	------	-----

少年女子カヤックフォア	2位	晴枝 葵	3-2
-------------	----	------	-----

○アーチェリー

・令和5年度富山県高等学校春季大会アーチェリー競技

70mラウンド 女子個人	3位	中 柚希	1-1
--------------	----	------	-----

・令和5年度富山県高等学校総合体育大会アーチェリー競技

70mラウンド 女子個人	3位	小森 結菜	1-4
--------------	----	-------	-----

○放送部

・第62回富山県高校放送コンテスト

創作テレビドラマ部門	優秀賞1位		
------------	-------	--	--

テレビドキュメント部門	優良賞		
-------------	-----	--	--

○将棋部

・第59回全国高等学校将棋選手権富山県大会

男子団体戦	優勝		
-------	----	--	--

女子個人戦	2位	貫和 一花	1-3
-------	----	-------	-----

○ダンス同好会

・全国高等学校ダンスドリル選手権大会2023甲信越大会

ヒップホップ男女混成部門スモール編成	1位		
--------------------	----	--	--

ヒップホップ男子部門スモール編成	1位		
------------------	----	--	--

ヒップホップ女子部門スモール編成	1位		
------------------	----	--	--

○囲碁

・第47回全国高等学校囲碁選手権大会 富山県大会

団体戦	1位		
-----	----	--	--

個人戦	1位	永田 大和	3-2
-----	----	-------	-----

	3位	米田 有佑	3-2
--	----	-------	-----

○少林寺拳法

・第8回富山県高等学校少林寺拳法大会

女子単独演武	1位	廣瀬 照	1-1
--------	----	------	-----



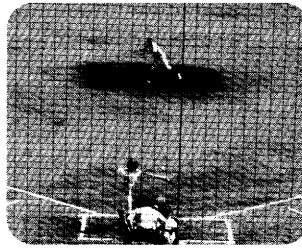
ソフトテニス



アーチェリー



ダンス同好会



野球



剣道

原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ

<http://uozu-dosokai.net/>

魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>